

【六月の言葉（令和七年）】

世の中には

理屈では説明できない

ものがある

『念仏には無義をもつて義とす』〔歎異抄〕

義とは「はからい」や「分別」を表す言葉。本願他力の念仏においては、自分の都合で判断したり、理屈で考えたりすることはしません。「念仏を称えれば、良いことがあるかもしれない」などという勝手な意味づけは、してはいけません。

現代に生きる私たちは論理的な思考に慣れています。物事に対して「どうしてこうなるのか」「これを行うと、どんな結果になるのか」と思いを巡らせることも多いでしょう。しかし、私たちの身の回りで起きることや、人との出会いなど、世の中にはどうしても理屈では説明できないこと、言葉にできないことがたくさんあります。それらに自分なりの意味づけをする必要はありません。がんじがらめの理屈から解放されることで、見えてくるものがきつとあるはずです。